

土日閉所率、全国より高水準

24年度日曜97%、土曜は80%に

新潟県アスファルト合材協会は、会員企業が保有するアスファルト合材工場の2024年度の毎月の土日閉所率が日曜は97%（30工場中29工場）、土曜は80%（30工場中24工場）に達したことを明らかにした。同協会は「全国のアスファルト合材協会は工場の土日閉所活動を行っているが、新潟の閉所率は全国的に見てもかなり高い水準にある」と話している。

24年度の閉所率を曜日別で見ると第1土曜が73%（30工場中22工場）、第1日曜が97%（同29工場）、第2土曜が87%（同26工場）、第2日曜が97%（同29工場）、第3土曜が73%（同22工場）、第3日曜が97%（同29工場）、第4土曜が87%（同26工場）、第4日曜が97%（同29工場）、第5土曜が73%（同22工場）、第5日曜が100%（同30工場）となっている。同協会は働き方改革につ

なぐる会員の工場の土曜閉所活動を17年10月に始めた。開始当初（当時は29工場、後に30工場）は第2・第4土曜日を閉所する活動を展開していたが、初年度（17年10月～18年3月の半年間）は第2・第4土曜閉所率は44%、第2・第4日曜閉所率は84%だった。

閉所活動開始から8年目になる24年1月24日には同協会の親団体になる日本道路建設業協会と日本アスファルト合材協会は連携で「4週8休の定着」「土日休業」を方針とする「働き方改革推進宣言」を決定。新潟県アスファルト合材協会は「この宣言を踏襲して、顧客の理解を得るため、24年に請求書を送付する際に、工場の土日閉所への「協力をお願い」と工場名入りリーフレット」を同封したほか、「土日完全閉所」のポスターとチラシを作成・配布するといったより活みやすい体制を目指した活

動を展開していた。

